



解禁日時	ラジオ・テレビ インターネット	令和6年7月29日(月) 17:00解禁
	新聞	令和6年7月30日(火) 朝刊から

岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和6年7月25日(木) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
義務教育課	小中教科教育係	車戸 良成	内線 8593
		長屋 和宏	直通 058-272-8843
			FAX 058-278-2817

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について、下記のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

記

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象学年(原則として以下の学年の全児童生徒が対象)

- ・小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- ・中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

(1) 児童生徒に対する調査

- ・教科(小学校:国語、算数 中学校:国語、数学)に関する調査
- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

(2) 学校に対する調査

- ・指導方法に関する取組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査

4 調査日 令和6年4月18日(木)

5 岐阜県において調査を実施した学校数・児童生徒数(公立学校)

	市町村(組合)立 小・中学校	市村立 義務教育学校	県立 特別支援学校	計	対象児童生徒数
小学校調査	337	6	2	345校	約16,067人
中学校調査	171	6	7	184校	約15,510人

※「学校数」には、国立と私立の小・中学校は、県全体の集計に入らないため含んでいません。
 ※義務教育学校については、前期課程を小学校、後期課程を中学校として計上しています。
 ※県立特別支援学校については、小学部を小学校、中学部を中学校として計上しています。
 ※児童生徒数は調査内容により、参加した人数が異なるため、「約」としています。

II 岐阜県における調査結果

1 児童生徒の学力の状況について

(1) 平均正答率

- ・ 小学校では、「国語」「算数」とともに、全国の平均正答率を下回っている。
- ・ 中学校では、「国語」「数学」とともに、全国の平均正答率を上回っている。

教科	小学校		中学校	
	岐阜県	全国	岐阜県	全国
国語	65	67.7	60	58.1
算数・数学	61	63.4	54	52.5

- ※ 県の平均正答率については、文部科学省から整数値で提供を受けています。
- ※ 小学校は、国語が全 14 問、算数が全 16 問に対する平均正答率を示しています。
- ※ 中学校は、国語が全 15 問、数学が全 16 問に対する平均正答率を示しています。

(2) 平均正答率の推移

- ※ 県の平均正答率は、文部科学省から整数値で提供を受けているため、岐阜県と全国との差の値は算出していません。
- ※ 平成 31 年度以降、A 問題（知識）と B 問題（活用）という区分がなくなり、知識・活用を一体的に問う調査問題に変更されました。
- ※ 令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止になりました。

① 小学校第 6 学年

- 【国語】 平成 28 年度以降、全国の平均正答率に近い数値で推移していたが、平成 31 年度から全国の平均正答率を下回っている。
- 【算数】 平成 21 年度以降、全国の平均正答率を下回る数値で推移している。

教科		H30		H31		R3		R4		R5		R6	
		岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国
国語	A	72	70.7	63	63.8	63	64.7	64	65.6	65	67.2	65	67.7
	B	56	54.7										
算数	A	63	63.5	65	66.6	69	70.2	61	63.2	60	62.5	61	63.4
	B	51	51.5										
理科		61	60.3					63	63.3				

② 中学校第 3 学年

- 【国語】 本調査実施当初以降、全国の平均正答率と同程度、またはそれを上回る数値で推移している。
- 【数学】 本調査実施当初以降、全国の平均正答率を上回る数値で推移している。

教科		H30		H31		R3		R4		R5		R6	
		岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国
国語	A	76	76.1	75	72.8	65	64.6	70	69.0	71	69.8	60	58.1
	B	62	61.2										
数学	A	67	66.1	61	59.8	59	57.2	53	51.4	53	51.0	54	52.5
	B	49	46.9										
理科		68	66.1					52	49.3				
英語				57	56.0					48	45.6		

2 児童生徒の意識について【児童生徒質問調査から】

(1) 学習状況等

- ・ 自分で考え、自分から取り組む学習や、友達と話し合っ自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする学習について、小・中学校ともに、全国平均より高く、昨年度より推進されている。
- ・ 自分と違う意見について考えることを楽しいと感じている割合は、小学校では、全国平均よりやや低い。
- ・ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりする学習について、小学校は全国平均よりやや低いものの、小・中学校ともに、昨年度より推進されている。
- ・ 自分のよさを自覚している児童生徒の割合は、全国平均より高く、昨年度より増加している。
- ・ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合は、全国平均より高い。

※ 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)

※ 下段()は令和5年度の数値。

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	83.3 (79.8)	81.9 (78.8)	1.4 (1.0)	85.7 (85.2)	80.3 (79.2)	5.4 (6.0)
学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、 <u>自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。</u> ※波線部は令和6年度から変更。令和5年度までは「広げたりする」という文言。	86.9 (81.5)	86.3 (81.8)	0.6 (▲0.3)	88.4 (82.4)	86.1 (79.7)	2.3 (2.7)
自分と違う意見について考えるのは楽しい。	75.2 (76.1)	75.8 (76.5)	▲0.6 (▲0.4)	77.3 (77.3)	76.2 (77.6)	1.1 (▲0.3)
授業で学んだことを、 <u>次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う。</u> ※波線部は令和6年度から変更。令和5年度までは「ほかの学習で生かしている」という文言。	83.1 (80.2)	83.7 (81.9)	▲0.6 (▲1.7)	79.3 (72.1)	79.0 (69.9)	0.3 (2.2)
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。	87.8 (94.2)	87.9 (93.0)	▲0.1 (1.2)	87.1 (91.9)	84.9 (88.9)	2.2 (3.0)
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	90.5 (91.1)	89.9 (89.8)	0.6 (1.3)	92.6 (90.5)	90.4 (87.3)	2.2 (3.2)
自分には、よいところがあると思う。	85.2 (84.5)	84.1 (83.5)	1.1 (1.0)	84.5 (81.4)	83.3 (80.0)	1.2 (1.4)
将来の夢や目標を持っている。	81.2 (80.5)	82.4 (81.5)	▲1.2 (▲1.0)	66.8 (66.6)	66.3 (66.3)	0.5 (0.3)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	84.6 (79.0)	83.5 (76.8)	1.1 (2.2)	78.8 (68.2)	76.1 (63.9)	2.7 (4.3)

(2) ICTの活用状況

- ・ 授業で ICT 機器を「ほぼ毎日」使用する割合は、小・中学校ともに全国平均より高い。
- ・ ICT 機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めたり、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができたり、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると考える児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均より高い。

※ 下段()は令和5年度の数值。

質問事項	小学校			中学校			
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差	
5年生までに(中:1、2年生のときに)受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか。	①ほぼ毎日	31.1 (34.2)	25.3 (28.2)	5.8 (6.0)	50.6 (50.5)	31.0 (28.1)	19.6 (22.4)
	②週3回以上	34.0 (34.9)	34.2 (34.2)	▲0.2 (0.7)	29.7 (29.5)	33.4 (33.0)	▲3.7 (▲3.5)

※ 「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、5年生まで〔中:1、2年生のとき〕の学習のようすを振り返り、次のことがどれくらい当てはまるか。」という質問に対して「とてもそう思う」「そう思う」と回答した児童生徒の割合(%) 【新規】

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。	87.5	85.5	2.0	84.1	80.2	3.9
ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。	92.8	92.1	0.7	96.2	93.9	2.3
ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる。	85.8	86.0	▲0.2	84.5	82.4	2.1
画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。	90.6	89.8	0.8	91.4	89.0	2.4
ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。	81.6	79.2	2.4	83.0	77.7	5.3
ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。	88.1	86.1	2.0	89.8	86.2	3.6
ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる。	88.1	87.1	1.0	87.6	85.2	2.4

3 各学校における取組状況について【学校質問調査から】

(1) 学校運営等に関する状況

- ・ 全国学力・学習状況調査の結果等を活用し、教育課程の改善を図る PDCA サイクルを確立している学校は、小・中学校ともに9割を超えている。
- ・ 国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、言語活動に学校全体として取り組んでいる学校の割合は、中学校において全国平均より高い。
- ・ 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、組織的かつ計画的な取組みをしている学校の割合は、中学校において全国平均より高い。
- ・ 児童(生徒)が家庭学習に取り組む際、自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫している学校の割合は、小・中学校ともに全国平均より高い。

※ 「よくしている・よく行った」「どちらかといえば、している・どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合(%)

※ 下段()は令和5年度の数值。()がないものは令和5年度の実施はなし。

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCA サイクルを確立している。	97.7 (98.6)	97.0 (96.2)	0.7 (2.4)	98.4 (97.3)	96.5 (95.2)	1.9 (2.1)
言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいる。	94.2 (95.8)	96.0 (95.6)	▲1.8 (0.2)	95.7 (95.7)	94.2 (93.4)	1.5 (2.3)
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組みをする。	85.2	87.1	▲1.9	94.1	91.2	2.9
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習について、児童(生徒)が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行う。	92.8	89.7	3.1	88.6	84.0	4.6

(2) ICTの活用状況

- ・ 小・中学校ともに、ICT機器を授業で「ほぼ毎日」活用している割合が全国平均より高い。
- ・ ICT機器を不登校児童生徒への学習活動等の支援や、特別な支援を要する児童生徒への学習活動等の支援に活用する割合は、中学校において全国平均より高い。

※ 下段()は令和5年度の数値。

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
前年度に、大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか。	91.6 (91.6)	76.0 (72.7)	15.6 (18.9)	86.4 (79.8)	74.6 (71.8)	11.8 (8.0)
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業でどの程度活用しましたか。	76.5 (75.6)	69.0 (65.2)	7.5 (10.4)	81.0 (80.9)	67.5 (62.6)	13.5 (18.3)

※ 「児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、以下のような用途でどの程度使用しているか。」という質問に対して「ほぼ毎日・週3回以上・週1回以上」と回答した学校の割合(%)。

※ 下段()は令和5年度の数値。

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
不登校児童(生徒)に対する学習活動等の支援	37.0 (47.9)	38.8 (43.0)	▲1.8 (4.9)	53.3 (58.4)	52.9 (54.5)	0.4 (3.9)
特別な支援を要する児童(生徒)に対する学習活動等の支援	60.9 (67.6)	63.5 (67.2)	▲2.6 (0.4)	66.2 (65.6)	63.0 (63.1)	3.2 (2.5)

Ⅲ 本調査結果を踏まえた岐阜県教育委員会の取組み

- 本県の課題を踏まえた「指導改善資料」を作成し、各市町村教育委員会を通じて、小中学校、義務教育学校、特別支援学校に配付する。また、地区ごとに「学力向上推進会議」を開催して、各学校が具体的な指導改善の方途を明確にできるようにする。

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るために、指導主事会や学校訪問等を通して、指導改善の方法やICTの効果的な活用等について指導助言を行う。また、令和5年度から取り組んでいる「『指導と評価の一体化』による学習評価の充実・推進事業」における各地区リーディング・スクールの実践研究を引き続き支援し、単元を見通した「指導と評価」の計画の立案、根拠に基づく、妥当性・信頼性のある学習評価の在り方等について、実践報告会等で県内に周知し指導改善を促す。
- 小学校を対象とした算数のクラウド教材「NEW!GIFUウェブラーニング」を活用し、システム内のスタディログに基づいた教師の指導改善や児童の学習改善等の開発を担う「教育データ利活用推進校」への支援を行うとともに、推進校による教育データを活用した授業改善と実践の成果の普及を図る。

教育長コメント

県教育委員会としては、小学校段階から、自己肯定感を育み、誰一人取り残すことなく寄り添う教育を大切にしています。今後もこうした方針を堅持しつつ、今回の調査で明らかとなった課題について改善するよう取り組んでまいります。

また、子どもたちの「夢や目標の実現」を支援するとともに、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という願いを後押しすべく、市町村教育委員会と連携し、子どもたちの「自立力」「共生力」「創造力」が身に付く施策を充実させていきたいと考えております。

教科に関する調査問題（例）と結果

1 よくできていた問題及び課題がみられた問題の例

(1) 国語

① よくできていた問題の例

■令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 国語 大問2一(2)

■令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 国語 大問3一

問題の概要		正答率
<p>小学校 国語 2一(2)</p>	<p>○ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。</p> <p>【高山さんのメモ】</p> <p>【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 出来事が起こった順に言葉を線でつないでいる。 中央の言葉と関係する言葉を線でつないでいる。 似ていることがらをまとめて丸で囲んでいる。 よい点と問題点を分けて丸で囲んでいる。 	<p>岐阜県：85.9% 全 国：86.9%</p> <p>全国差：-1.0</p>
<p>中学校 国語 3一</p>	<p>○ 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。</p> <p>佐藤さんは、【ノートの一部】の〈もとにする体験〉に書いた情報の中から、「最近ではオンライン辞書ばかり使っている。」と「紙の辞書を久しぶりに使った。」を取り上げることになりました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 物語の読み手に、紙の辞書を初めて手にしたときの気持ちがより明確に伝わるようになるため。 物語の読み手に、紙の辞書よりもオンライン辞書の方がよいことがより明確に伝わるようになるため。 物語の読み手に、紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさがより明確に伝わるようになるため。 物語の読み手に、紙の辞書の引き方が難しく困ったことがより明確に伝わるようになるため。 	<p>岐阜県：83.3% 全 国：81.4%</p> <p>全国差：+1.9</p>

② 課題がみられた問題の例

■令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 国語 大問1二(2)

■令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 国語 大問2一

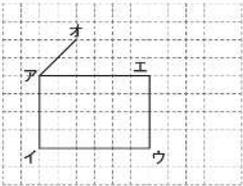
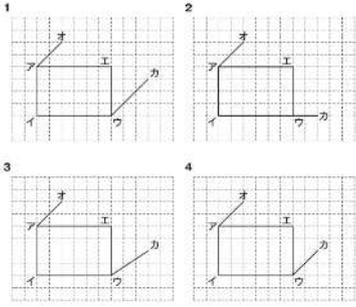
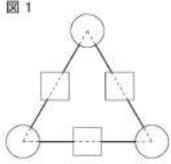
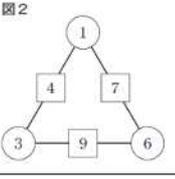
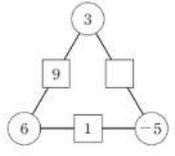
問題の概要		正答率
<p>小学校 国語 1二(2)</p>	<p>○ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>和田さんは、村木さんの発言⑥を受けて、発言⑦のように話しました。和田さんの話し方のくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 相手が興味をもっていることに気づき、相手の言葉を引用して話した。 2 相手が興味をもっていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。 3 相手が興味をもっていないことに気づき、言葉の意味を説明しながら話した。 4 相手が興味をもっていないことに気づき、自分の体験を加えて話した。 </div>  <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-size: small;">「オンライン交流の様子の一部」</p>	<p>岐阜県：50.0% 全国：52.9%</p> <p>全国差：-2.9</p>
<p>中学校 国語 2一</p>	<p>○ 文章と図とを結び付けて、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「図 さまざまな形の葉」の本文中での役割を説明したものとして適切なものを、次の1から4までの中から二つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるように補助する役割。 2 実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けて捉えられるようにする役割。 3 葉の形を表す言葉を二つのグループに分けるやり方が複数あることを示す役割。 4 葉の形を表す言葉の中では厚み方向の形容が限定的であることの根拠を示す役割。 </div>	<p>岐阜県：37.3% 全国：36.3%</p> <p>全国差：+1.0</p>

(2) 算数・数学

① よくできていた問題の例

■令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 算数 大問3(1)

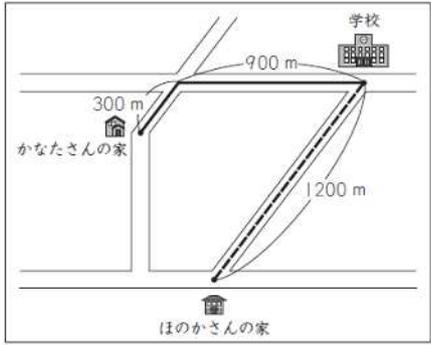
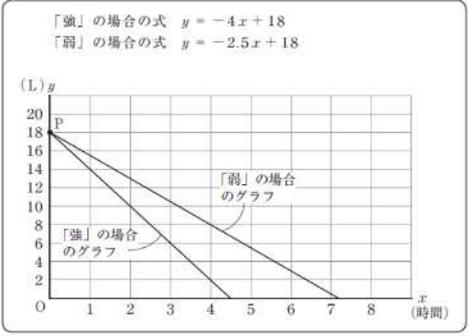
■令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 数学 大問6(1)

問題の概要		正答率
<p>小学校 算数 ③(1)</p>	<p>○ 直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる。</p> <p>ことねさんたちは、いろいろな立体について学習してきたことをふり返っています。</p> <p>(1) 直方体の見取図を、方眼紙にかいています。</p> <p>まず、下のように点アから点オまでの直方体の頂点として、かきました。</p>  <p>次に、下の1から4のように、点カ的位置を決めて、直方体の辺ウカをかこうとしています。辺ウカとして正しいものはどれですか。</p> <p>下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。</p> 	<p>岐阜県：86.8% 全 国：85.5%</p> <p>全国差：+1.3</p>
<p>中学校 数学 ⑥(1)</p>	<p>○ 問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかをみる。</p> <p>次の図1は、正三角形の3つの頂点に○を、3つの辺に□をかいたものです。○には整数を1つずつ入れ、□にはその□がかかっている辺の両端の○に入れた整数の和が入ります。</p>  <p>計算の例</p> <p>3つの○に1、3、6を入れると 3つの□にはそれぞれ 1+3、 3+6、 6+1 の計算結果が入る。 だから、3つの□には4、9、7 が入る。</p>  <p>(1) 下の図の□に入る整数を求めなさい。</p> 	<p>岐阜県：91.1% 全 国：90.2%</p> <p>全国差：+0.9</p>

② 課題がみられた問題の例

■令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 算数 大問4(3)

■令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 数学 大問8(2)

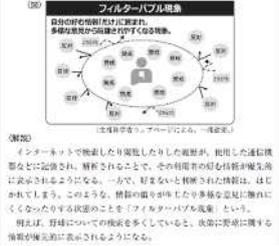
問題の概要		正答率						
小学校 算数 4(3)	<p>○ 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。</p> <p style="text-align: center;">家から学校までの道のり</p>  <p>かなたさんとほのかさんは、それぞれ家から学校まで歩いて行きました。</p> <p>家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。 家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。 それぞれ家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。 下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。 また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。</p> <p style="margin-left: 20px;">1 かなたさん 2 ほのかさん</p>	岐阜県：28.7% 全国：31.0% 全国差：-2.3						
中学校 数学 8(2)	<p>○ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。</p> <p>説明書の情報</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>ストーブの設定</th> <th>強</th> <th>弱</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1時間あたりの灯油使用量(L)</td> <td>4.0</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">ストーブの使用時間と灯油の残量</p> <p>「強」の場合の式 $y = -4x + 18$ 「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$</p>  <p>前のページのストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらかを選んで説明してもかまいません。また、実際に何時間かを求める必要はありません。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 「強」の場合の式 $y = -4x + 18$ と「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$ イ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ</p>	ストーブの設定	強	弱	1時間あたりの灯油使用量(L)	4.0	2.5	岐阜県：18.5% 全国：17.1% 全国差：+1.4
ストーブの設定	強	弱						
1時間あたりの灯油使用量(L)	4.0	2.5						

2 特徴的な問題とその正答率

(1) 国語

令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 国語 大問2 二

令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 国語 大問1 四

問題の概要		正答率
<p>小学校 国語 2二</p>	<p>○ 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。</p> <p>【高山さんの文章】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">みんな仲良く「たてわりはん」</p> <p>わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人も仲良くなります。</p> <p>「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対ごうで行います。上級生が下級生に応えんのは方を教えてたり、下級生も楽しめるように、きょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになることだと思います。</p> <p>「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールを、上げるようにしています。</p> </div> <p>【高山さんの取材メモ】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「たてわり遊び」について 6年生がくふうしていること ○遊びたいことを下級生に聞く ○ルールをくふうする ドッジボール 上級生は遠くからボールを上げる 下級生に聞いたこと ○1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった ○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた ○4年生 みんなが楽しそうであれしかった</p> </div> <p>高山さんは、次の【高山さんの文章】の□に、【高山さんの取材メモ】をもとにして考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなたが高山さんなら、□に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。</p> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。 ○ 【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。 ○ 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。 	<p>岐阜県：53.9%</p> <p>全国：56.6%</p> <p>全国差：-2.7</p>
<p>中学校 国語 1四</p>	<p>○ 話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>【課題】 フィルターバブル現象 多様な意見が広がりやすくなる。多様な意見が広がりやすくなる。</p> <p>【解説】 インターネットが普及したり発達したりした結果、利用した通信機器などに記録され、集められることで、その利用者の好みや性格を優先して表示されるようになる。一方で、好きなことや興味のある意見に集まりにくくなったりする状態のことを「フィルターバブル現象」という。例えば、野球についての検索を多くしていると、次第に野球に関する情報が優先的に表示されるようになる。</p> </div> <div style="width: 60%;"> <p>【話し合いの一部】</p> <p>山岡さん：私は、インターネットが普及する前は、多様な意見が広がりやすかった。でも、今は、自分の好きな情報ばかりが表示されるようになって、他の人の意見が聞けなくなりました。これは、便利ですが、自分の意見ばかりが強調されることで、多様な意見が聞けなくなっているのではないかと感じています。</p> <p>山岡さん：私も、インターネットが普及する前は、多様な意見が広がりやすかった。でも、今は、自分の好きな情報ばかりが表示されるようになって、他の人の意見が聞けなくなりました。これは、便利ですが、自分の意見ばかりが強調されることで、多様な意見が聞けなくなっているのではないかと感じています。</p> <p>山岡さん：私も、インターネットが普及する前は、多様な意見が広がりやすかった。でも、今は、自分の好きな情報ばかりが表示されるようになって、他の人の意見が聞けなくなりました。これは、便利ですが、自分の意見ばかりが強調されることで、多様な意見が聞けなくなっているのではないかと感じています。</p> <p>山岡さん：私も、インターネットが普及する前は、多様な意見が広がりやすかった。でも、今は、自分の好きな情報ばかりが表示されるようになって、他の人の意見が聞けなくなりました。これは、便利ですが、自分の意見ばかりが強調されることで、多様な意見が聞けなくなっているのではないかと感じています。</p> </div> </div> <p>【話し合いの一部】の山岡さんの最後の発言を受けて、あなたならどのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。</p> <p>なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。</p> <p>条件1 フィルターバブル現象の特徴について取り上げながら、これからどのように本を選びたいかを具体的に書くこと。</p> <p>条件2 【話し合いの一部】の誰の発言と結び付くのが分かるように書くこと。</p>	<p>岐阜県：52.6%</p> <p>全国：44.7%</p> <p>全国差：+7.9</p>

(2) 算数・数学

令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 算数 大問5(4)

令和6年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 数学 大問7(2)

問題の概要		正答率																																									
<p>小学校 算数 5(4)</p>	<p>○ 示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる。</p> <p>(4) こうたさんは、3月19日の卒業式の日までに、桜が開花してほしいと思っています。 桜がいつ開花するか知りたいと思い、桜の開花予想日について調べたところ、下のような桜の開花予想日の求め方を見つけました。</p> <p style="text-align: center;">桜の開花予想日の求め方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 2月1日から、毎日の最高気温の数値をたしていく。</p> <p>② 毎日の最高気温の数値をたした答えが、初めて600以上になったその日を桜の開花予想日とする。</p> </div> <p>こうた</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>今日は3月16日です。桜はまだ開花していません。</p> </div> <p style="text-align: center;">3月16日から3月19日までの最高気温の予報</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>日にち</td> <td>3月16日</td> <td>3月17日</td> <td>3月18日</td> <td>3月19日</td> </tr> <tr> <td>最高気温(度)</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> </table> <p>こうたさんは、3月16日以降は予報どおりの最高気温になるとして、桜の開花予想日の求め方を使って、桜の開花予想日を求めました。 桜の開花予想日について、次のようにまとめることができます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>最高気温の数値をたしていった答えが、初めて600以上になる式は、<input type="text" value="549 + 21"/> だから、 桜の開花予想日は3月<input type="text" value="16"/>日です。</p> </div> <p>上の○に入る式を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の○に入る数を書きましょう。</p> <p>1 $549 + 21$ 2 $549 + 21 + 20$ 3 $549 + 21 + 20 + 15$ 4 $549 + 21 + 20 + 15 + 14$</p>	日にち	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	最高気温(度)	21	20	15	14	<p>岐阜県：47.2% 全国：49.3% 全国差：-2.1</p>																															
日にち	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日																																							
最高気温(度)	21	20	15	14																																							
<p>中学校 数学 7(2)</p>	<p>○ 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。</p> <p>(2) 咲希さんは、車型ロボットの速さを変えたときに、10cmの位置から進んだ距離がどうなるか調べることにしました。そこで、速さを段階1から段階5まで変えて、10cmの位置から進んだ距離をそれぞれ20回ずつ調べ、データを集めました。そして、データの分布の傾向を比較するために箱ひげ図に表しました。</p> <p style="text-align: center;">10cmの位置から進んだ距離の分布</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">10cmの位置から進んだ距離(cm)</th> </tr> <tr> <th>最小値</th> <th>第1四分位数</th> <th>中央値</th> <th>第3四分位数</th> <th>最大値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>段階1</td> <td>1.5</td> <td>1.9</td> <td>2.0</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>段階2</td> <td>1.9</td> <td>2.3</td> <td>2.5</td> <td>2.7</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>段階3</td> <td>2.4</td> <td>2.8</td> <td>3.0</td> <td>3.2</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>段階4</td> <td>3.1</td> <td>3.3</td> <td>3.5</td> <td>3.8</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>段階5</td> <td>3.0</td> <td>3.8</td> <td>4.2</td> <td>4.5</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>10cmの位置から進んだ距離の分布から、「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、10cmの位置から進んだ距離の分布の5つの箱ひげ図を比較して説明します。下の説明を完成しなさい。</p> <p>説明</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; min-height: 50px;"> <p>したがって、速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある。</p> </div>		10cmの位置から進んだ距離(cm)					最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値	段階1	1.5	1.9	2.0	2.2	2.4	段階2	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	段階3	2.4	2.8	3.0	3.2	3.5	段階4	3.1	3.3	3.5	3.8	4.3	段階5	3.0	3.8	4.2	4.5	4.8	<p>岐阜県：27.3% 全国：25.9% 全国差：+1.4</p>
	10cmの位置から進んだ距離(cm)																																										
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値																																						
段階1	1.5	1.9	2.0	2.2	2.4																																						
段階2	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9																																						
段階3	2.4	2.8	3.0	3.2	3.5																																						
段階4	3.1	3.3	3.5	3.8	4.3																																						
段階5	3.0	3.8	4.2	4.5	4.8																																						